

(1) 進行管理・達成状況の評価について

本計画では、下記の表2に示す実施事業の実績報告及び計画の達成状況の評価を行いながら、本計画の実現に向けて事業を進めております。計画の進行管理においては下記の表1に示す「計画の進行管理及び評価のスケジュール」に基づき越谷市地域公共交通協議会において実施事業の実績報告及び計画の達成状況の評価を毎年度行います。

表1 計画の進行管理及び評価のスケジュール

項目	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実施事業の実績報告・計画の達成状況の評価	●	●	●	●	●	●
計画（取組み・評価指標等）の見直し			○			★
地域公共交通協議会	●	●	●	●	●	●

凡例 ●：実施 ○：必要に応じて実施 ★：次期計画への検討

表2 実施事業の取組み内容

基本方針1
地域の実情に応じた持続可能な交通ネットワークの形成

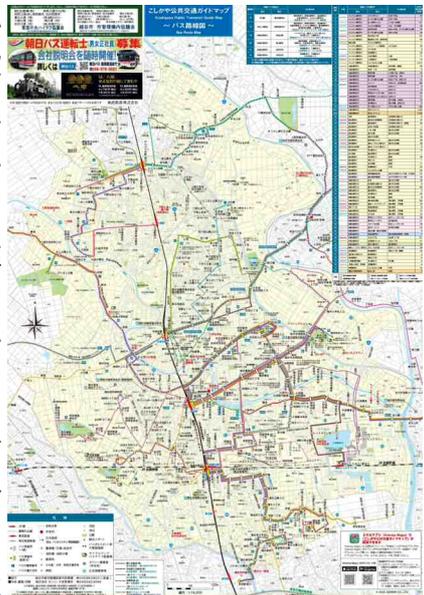
基本方針2
誰もが利用しやすい公共交通環境の整備

基本方針3
「みんなで公共交通に乗って、守り、育てる」意識の醸成

事業1-1	バス路線の維持・充実（継続）
事業1-2	関係者の協働による新たな公共交通の導入に向けた取組み（継続）
事業1-3	地域の多様な輸送資源を活用する取組みの検討（新規）
事業2-1	公共交通利用環境の改善（継続）
事業2-2	サイクル&バスライド*の推進（継続）
事業2-3	ノンステップバス*の導入促進（継続）
事業2-4	鉄道駅のバリアフリー化（継続）
事業2-5	鉄道駅における乗り継ぎ円滑化（継続）
事業2-6	新たなモビリティサービスの検討（新規）
事業2-7	バスロケーションシステムの導入促進（新規）
事業2-8	交通系ICカード*の導入促進（新規）
事業3-1	モビリティ・マネジメント*（継続）
事業3-2	公共交通に関する情報案内の充実（継続）
事業3-3	バス・タクシー運転者の確保・育成（新規）
事業3-4	シルバーサポーター制度の導入促進（新規）

実施事業 1-1 バス路線の維持・充実（継続）【参考】

基本方針	方針1：地域の实情に応じた持続可能な交通ネットワークの形成																					
事業概要	<p>既存のバス路線は、通勤・通学、私事など日常生活に欠かせない移動手段であり、市内各地と本市の交通結節点である鉄道駅との移動に多く利用されています。</p> <p>本市のバス路線のサービス水準を維持、充実するため、公共交通サービスを支える担い手のひとつである市民が積極的に路線バスを利用するとともに、バス事業者と市が連携し、利用者のニーズに応じたバス路線の維持、新設や見直しに努めます。</p> <p>実施にあたっては、まちづくりと連携した路線の新設や、市内外の路線の連携及び道路環境についても配慮しながら進めます。</p>																					
実施主体	市・事業者・市民																					
実績管理指標	路線バス利用者数																					
実施スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施項目</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バス路線の見直し</td> <td colspan="6" style="text-align: center;">▶ 調査・検討・実施 ▶</td> </tr> <tr> <td>市民要望の情報共有</td> <td colspan="6" style="text-align: center;">▶ 実施 ▶</td> </tr> </tbody> </table> <p>※スケジュールは事業の進め方のイメージを示したものであり、詳細は実施主体において検討・調整します。</p>	実施項目	R3	R4	R5	R6	R7	R8	バス路線の見直し	▶ 調査・検討・実施 ▶						市民要望の情報共有	▶ 実施 ▶					
実施項目	R3	R4	R5	R6	R7	R8																
バス路線の見直し	▶ 調査・検討・実施 ▶																					
市民要望の情報共有	▶ 実施 ▶																					



■図 越谷市内の鉄道・バス路線網
(資料：越谷市公共交通ガイドマップ)

※参考（越谷市地域公共交通計画39ページ抜粋）

(2)実施事業の実績報告について

基本方針1 地域の実情に応じた持続可能な交通ネットワークの形成		
事業項目	実績管理指標	令和3年度の実績
事業1-1(継続) バス路線の維持・充実	路線バス利用者数	○路線バス利用者数(1日当たりの平均利用者数) ・令和3年度 23,812人 +1,790人増加 ・令和2年度 22,022人 【利用者数の増加を図る取組み】 ・市内在住の65歳以上の高齢者に「越谷市高齢者バス・タクシー共通利用券」を配布
事業1-2(継続) 関係者の協働による新たな公共交通の導入に向けた取組み	乗合交通利用圏域のカバー率	○カバー率:70.5% (実証運行のため、カバー率の変更はなし) 【新方地区におけるカバー率の増加を図る取組み】 ・新方地区 デマンド型乗合タクシーによる実証運行の実施 ・新方地区内公共交通導入検討協議会の開催:5回開催 ・実証運行に関するアンケート調査の実施

※令和3年12月31日時点の実績

事業1-1 バス路線の維持・充実

○越谷市高齢者バス・タクシー共通利用券の配布



写真1:越谷市高齢者バス・タクシー共通利用券

事業1-2 関係者の協働による新たな公共交通の導入に向けた取組み

○デマンド型乗合タクシーによる実証運行の実施



写真2:乗合タクシー運行の様子

基本方針2 誰もが利用しやすい公共交通環境の整備

事業項目	実績管理指標	令和3年度の実績
事業2-1(継続) 公共交通利用環境の改善	バス、タクシー待合の 改善箇所数	○改善箇所数：17箇所
事業2-4(継続) 鉄道駅のバリアフリー化	ホームドアの設置駅数・ 番線数	○ホームドア設置駅数：2駅(整備中) ○番線数：4線(整備中) ・越谷駅(2・3番線) ・蒲生駅(1・2番線)
事業2-5(継続) 鉄道駅における乗り継ぎ 円滑化	交通結節点での機能強化 整備箇所数	○整備箇所数：3箇所 ・北越谷駅構内の自由通路内にバス・タクシー乗換案内を設置予定：2箇所 ・北越谷駅西口に案内図を設置予定：1箇所

※令和3年12月31日時点の実績

事業2-1 公共交通利用環境の改善

○公共交通利用者がバス停を安全、快適に利用できる環境を整備するため、バス停付近の歩車道境界ブロックの一部撤去や植栽を撤去する工事を実施



写真3：工事後のバス停の状況



写真4：工事後のバス停の状況

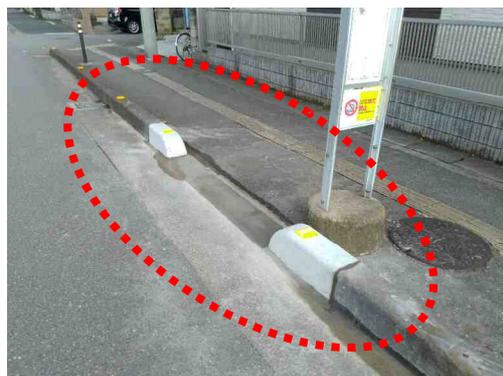


写真5：工事後のバス停の状況

事業2-4 鉄道駅のバリアフリー化

○鉄道駅のバリアフリー化を進めるため、鉄道事業者（東武鉄道株式会社）が実施する「越谷駅」及び「蒲生駅」におけるホームドア整備事業(工事費)に対し補助金を交付【平成30年度からの継続事業】



写真6：ホームドア完成イメージ
(北越谷駅下りホーム)

事業2-5 鉄道駅における乗り継ぎ円滑化

○鉄道駅における路線バスやタクシーへの乗り継ぎの円滑化を図るため、案内板等を整備

・北越谷駅構内の改札口正面支柱上部（2箇所）にバス・タクシー乗換案内（ステッカー）を設置予定



図1：案内表示イメージ（西口）



写真7：北越谷駅北口改札正面に設置



図2：案内表示イメージ（東口）

・北越谷駅西口にバス乗り場の案内図（1箇所）を設置予定

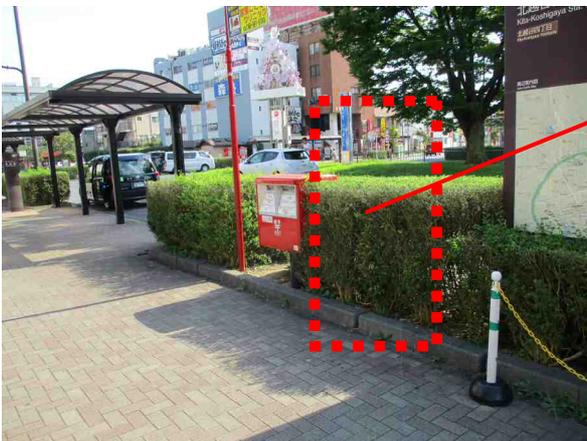


写真8：案内図の設置予定箇所



図3：案内図イメージ

基本方針3 「みんなで公共交通に乗って、守り、育てる」意識の醸成

事業項目	実績管理指標	令和3年度の実績
事業3-2(継続) 公共交通に関する情報案内の充実	こしがや公共交通ガイドマップの配布先箇所数・配布枚数	<ul style="list-style-type: none"> ○配布先箇所数：29箇所 ○配布枚数：9,200枚 【主な配布先・配布枚数】 ・市役所窓口等、地区センター、市立病院等 約4,400枚 ・越谷警察署 約3,300枚 ・交通事業者 約1,000枚 ・観光協会 約300枚 ・民間宿泊施設 150枚 (新規に2施設配布) ・その他 50枚 ・バスの乗り方教室(開催中止)

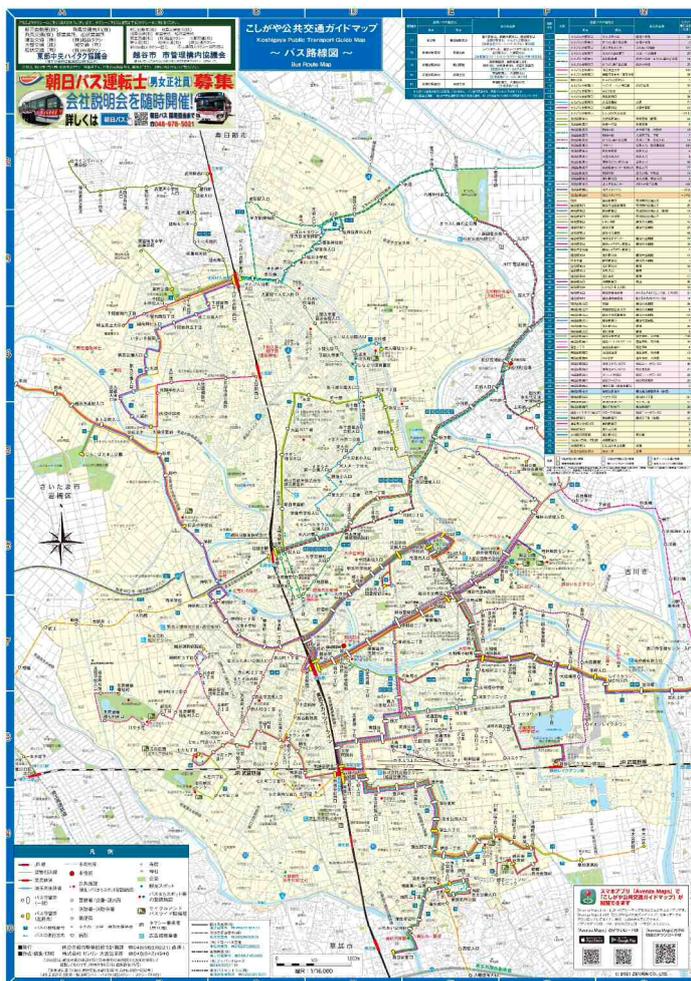
※令和3年12月31日時点の実績

事業3-2 公共交通に関する情報案内の充実

○こしがや公共交通ガイドマップの作成(10,500枚)



◆令和3年(2021年)3月版(Vol.6)の表紙



◆令和3年(2021年)3月版(Vol.6)の裏面